



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 33号 2010.3.8 発行 社会政策研究所

21年度ふるむわん研究報告会 開催される

今年度で6回目となるふるむわん研究報告会が、3月6日(土)午後、中央支援センターで開催されました。今年度は、グループ研究11件、個人研究3件、今年度から設けられた指定図書読後感想に12件と、合計26件の報告がありましたが、この中から当日16件の口頭報告が行われました。会場には職員約100名がぎっしりと座り、各報告を熱心に聴いていました。今回の審査にあたったのは藤田理事長ほか9名の親理事・監事等です。短い時間に的確にポイントを報告する姿に心地よい緊張感が走るひとときでした。

審査のポイントは、各5点満点で次の5つです。なぜこのような研究に取り組んだのか。

わかりやすい資料は準備されていたか。何が言いたいのか趣旨がはっきりしていたか。

これを研究することで福祉現場への貢献が期待できるか。発表時間に合わせた内容であったか。審査の結果、最優秀には、支援センター中の「支援の申し合わせ」(212点)が選ばれました。2位は事務局の「法人ホームページ研究」(211点)、3位はしらすぎの「精神疾患のある人に対しての地域生活支援」(202点)が選ばれました。そのほか、4位はさくらの「就労移行支援エンパワメント」(199点)、5位はあまみ「地域生活支援と債務」(189点)でした。審査ポイントごとの審査員10名の合計50点満点で41点以上の報告は以下のとおりです。

毎年業務の忙しい中で取り込まれる「ふるむわん研究会」は、大阪手をつなぐ育成会が提供するサービスの質の向上に着実に繋がります。そして、参加する職員一人ひとりにとっても力量のアップに結びついています。知的障害福祉サービス分野のリーディングカンパニー=大阪手をつなぐ育成会のブランド力を示せる、そして職員でそのことを実感する良い機会となりました。来年度も振るってご参加ください。【kobi】

なぜこのような研究に取り組んだのか。

「就労移行支援エンパワメント」「法人ホームページ研究」「リスクマネジメント」「通勤寮新体系移行」「精神疾患のある・・・」「支援の申し合わせ」「地域生活と債務」

わかりやすい資料は準備されていたか。

「支援の申し合わせ」「就労移行支援エンパワメント」「通勤寮新体系移行」

何が言いたいのか趣旨がはっきりしていたか。

「法人ホームページ研究」「支援の申し合わせ」

これを研究することで福祉現場への貢献が期待できるか。

「精神疾患のある・・・」「通勤寮新体系移行」「支援の申し合わせ」

発表時間に合わせた内容であったか。

「法人ホームページ研究」「通勤寮新体系移行」「支援の申し合わせ」

